

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法  
償却原価法（定額法）によっている。
- (2)固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。
- (3)消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

本注記をもって附属明細書の基本財産及び特定資産の明細に代えるものとする。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
普通預金	0	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	0
特定資産				
法人運営基金定期預金	880,000,000		20,000,000	860,000,000
法人運営基金普通預金	27,308,905	10,000,052		37,308,957
法人運営基金投資有価証券	0	0	0	0
合 計	1,107,308,905	10,000,052	20,000,000	1,097,308,957

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの の充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	200,000,000	200,000,000	0	0
普通預金	0	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	0
特定資産				
法人運営基金定期預金	860,000,000	860,000,000	0	0
法人運営基金普通預金	37,308,957	26,000,000	11,308,957	0
法人運営基金投資有価証券	0	0	0	0
合 計	1,097,308,957	1,086,000,000	11,308,957	0

4.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

固定資産科目の物件	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	343,440	68,688	274,752
合 計	343,440	68,688	274,752

5.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益振替額	40,123
特定資産運用益振替額	1,624,216
受取寄附金振替額	40,000,000
経常外収益への振替額	
合 計	41,664,339